

### 成果検証報告書

#### 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	小川町					
提案事業名	“広がる、繋がる、心地よさ”小川町魅力発信拠点整備事業					
事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 入込観光客数及び移住サポートセンターにおける移住・定住マッチング件数					
	(成果検証の具体的な方法) ①令和3年度(1年間)の入込観光客数 ②令和3年度(1年間)の移住サポートセンターにおける移住・定住マッチング件数					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (H31年3月時点)	①入込観光客数 740千人 ②マッチング件数 21件	目標値 (R4年3月時点)	①入込観光客数 750千人 ②マッチング件数 32件	実績値 (令和4年3月時点)	①:C 入込観光客数 495千人 ②:A マッチング件数 37件
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	12,500 20,296	稼働率 (%)	(目標) (実績)	85% 98%
住民への公表状況 及び特記事項		町の広報紙の中の「町の魅力発信拠点 むすびめ通信」で周知した。				

#### 【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① “広がる、繋がる、心地よさ” 小川町魅力発信拠点整備事業	○	駅前という好立地になるとともに昭和初期の建物を風情を残して改修したことによる魅力により利用者数の増加に繋がった。入込観光客数の減少は、感染症の影響による大規模イベントの中止が主要因である。 移住サポートセンターについては、駅前への立地になったことで、利用者増加に繋がり、相談件数の増加とともに移住者の増加にも繋がった。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	

#### 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	観光案内所利用者の大幅増加に繋がった。また、観光案内所や移住サポートセンターの機能だけでなく、公共交通機関(バス)の定期券の取扱い、バスや電車の待合所としての役割を果たしており、地元住民へのサービスの向上にも繋がっている。 また、移住サポートセンターと観光案内所が一体となり運営できており、関係人口を移住定住へと繋げる取り組みが行えている。
実施事業について 成果が不十分である点	感染症の影響により大規模イベントが中止になり、入込観光客数が目標値に達しなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	特になし。